



ごみの不法投棄は犯罪です 無くすためには、市民の皆さんの協力が必要

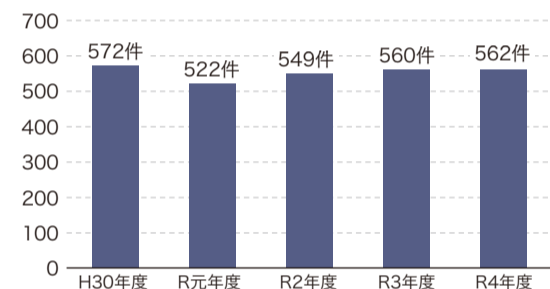
後を絶たない不法投棄。投棄されてしまうと周辺的美観を損なうばかりか、悪臭や害虫の発生、地下水の汚染など、私たちの生活環境に大きな影響を及ぼすことになります。不法投棄を減らすためには、土地所有者だけではなく、一人ひとりの監視の目が、とても重要となります。きれいな八千代市にするため、皆様のご協力をお願いします。

年間500件以上の不法投棄が発生 大半は家庭から出たごみ

家具や家電製品など生活で不要となったすべての物(ごみ)を、決められた場所以外に、ルールを守らず捨てることを不法投棄と言います。不法投棄は犯罪になり、法律で5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金(法人は3億円)または、その両方が課せられるなど重い罰則が設けられています。

4年度の市内での不法投棄件数は562件で、ほぼ横ばいの状況が続いています。近年は、家電製品や家具、生活雑貨など、一般家庭から出るごみの不法投棄が増えています。

■不法投棄件数の推移



パトロールや監視カメラなどで監視を強化

市では、不法投棄を防止するため、重点監

視地域を中心に監視カメラの設置や昼夜のパトロールを行っています。また、千葉県や八千代警察署とも連携して、不法投棄をした人を特定し、指導などを行っています。

不法投棄を防止・発見するためには、地域の人の監視の目が重要です。不法投棄を行っている人や車両を見かけたら、車のナンバーや現場の状況などの情報をクリーン推進課もしくは八千代警察署へ通報してください。

不法投棄をしている人を見かけても、絶対に声掛けはしないでください(トラブルに巻き込まれる可能性があります)。

また、不法投棄を見つけた場合は、投棄された物には手を触れずに、クリーン推進課までご連絡ください。

土地の所有者・管理者にごみの処理責任が発生

私有地や賃借地などにごみが捨てられてしまった場合、その土地所有者や管理者に、ごみ処理の責任が発生します。不法投棄をする人は、人通りが少なく捨てやすい場所や雑草などが生い茂り、周辺から見えづらい場所など、適切に管理されていない、監視の目が届きにくい場所に投棄する傾向があります。

土地所有者や管理者は、ごみが捨てられないように定期的に草刈を行ったり、侵入防止柵を設置したりするなどして、捨てられにくい環境づくりを行ってください。

市では、ラミネート看板作成などの相談に応じています。設置したい人はご連絡ください。

無許可の処理業者に ごみ処理を依頼しないで

近年、家電製品や家庭から出たごみなどを回収する無許可の業者が、市内を回っています。

市内の家庭から出るごみを運んだり、処理を行うには、八千代市の一般廃棄物処理業の許可が必要です。

無許可の業者は、法外な処理費用を請求してきたり、回収後に別の場所に不法投棄をしている事例が多発しています。無許可の業者が、不法投棄をした場合、その業者に依頼した人に責任が生じることがあります。絶対に利用しないでください。

市の許可業者は、市ホームページで確認できます。

お問い合わせは
クリーン推進課 ☎421-6770へ

学校でのごみ問題の取り組み

環境問題には、さまざまな問題がありますが、その中でも重要なものがごみ問題です。

近代社会は、大量生産・大量消費で経済を成長させてきました。しかし、その陰で増え続けてきたのが「ごみ」です。ごみ問題を放置しておく、温暖化や環境汚染などさまざまな問題が地球を苦しめることとなります。ごみ問題を解決し、ずっと住み続けられる地球を守るために、一人ひとりができることを考えましょう。

OECD(経済協力開発機構)に加盟している先進38か国のうち、日本のリサイクル率

は29位です。1位はドイツでリサイクル率は60%を超えていますが、日本はわずか19%です。日本のごみ処理はまだ十分ではないことがわかります。

市内の小・中・義務教育学校では、社会科や総合的な学習の時間などを使って、ごみ問題の解決に取り組んでいます。

八千代台東小学校では、4年生の社会科の時間に清掃センターの職員から、ごみの量が多くて困っていることを聞き、校内にリサイクルボックスを設置しました。リサイクルボックスに、牛乳パックなどを入れてくれた人には、資源をリサイクルして作成したしおりなどのお礼の品を渡しました。

萱田小学校では、夏休みと冬休みにSDGsチャレンジという宿題に全員が取り組んでいます。家の周りでごみ拾いを行い、それを地元の業者に持っていき、資源として買い取ってもらったという児童がいました。そのチャレンジに児童会役員が興味をもったことから、萱田小学校と地元企業が連携をして、ペットボトル、ペットボトルキャップ、アルミ缶の回収を行い、資源として買い取ってもらう試みが始まりました。これからも各学校で、ごみ問題に取り組んでいきます。

お問い合わせは
指導課 ☎481-0301へ

広告

広告